

一本のタスキに 思いを込めて

●センゴクエキデンを

駆け抜けた11人のサムライたち

12月2日、午前10時。

静岡県庁前。大勢詰めかけた観客。旗を振り、声を枯らす応援団。

響きわたるスタートの号砲。

1本のタスキと、市町の誇りを胸に秘め、一斉に駆け出した第一走者たち。

第7回静岡県市町村対抗駅伝競争大会が、今年も静岡市を舞台に繰り広げられました。

県内全市町から集結した47のチームが、日頃の練習の成果を発揮して、一つの市・町もリタイアすることなくゴールしました。

10人でつないだ一本のタスキ。

10人でつないだ一つの想い。



区間3位の健闘 第3区山下富士夫さん



静岡県庁前 一斉にスタート



大会前 ウォーミングアップ



競技場外の物産展も人気でした



7区を走る大石野々花さん

「ちなみに、この辺に川根本町の「のぼり」が



沿道で見かけた小さな応援団



●5区
前川 豊美さん



●4区
大窪 健太さん



●3区
山下 富士夫さん



●2区
堀 颯馬さん



●1区
大村 朱澄さん

川根本町を代表する
11人のサムライたち